



毎月第1・第3日曜日発行  
広報みたかはシルバー人材センターの会員がお届けしています。

発行:三鷹市/編集:広報メディア課  
〒181-8555 三鷹市野崎1-1-1  
法人番号:8000020132047

市役所電話(代表)  
☎0422-45-1151

ホームページ  
(パソコン・スマートフォン用)  
https://www.city.mitaka.lg.jp/

公式Twitter  
https://twitter.com/mitaka\_tokyo



今号の紙面から

|                                  |       |
|----------------------------------|-------|
| 新型コロナワクチン<br>18歳以上の方 3回目接種のご案内…… | 2面    |
| まん延防止等<br>重点措置期間です……             | 3面    |
| 図書館オリジナル手拭いを<br>販売中……            | 4面    |
| 市からのお知らせ……                       | 11面から |
| 東京空襲資料展……                        | 12面   |

## 新型コロナワクチン最新情報

# 5～11歳のお子さんへの接種を開始します

問三鷹市新型コロナワクチン接種コールセンター ☎0570-026-567

三鷹市では、3月7日(月)から小児(5～11歳のお子さん)へのワクチン接種を開始します。個別接種は5～11歳、集団接種は9～11歳が対象です。接種開始時に対象となる方は約11,800人で、接種券は3月1日(火)以降に、お手元に届く予定です。

なお、3月8日(火)までに12歳になる方へは、誕生日以降、12歳以上の方に用いる接種券を送付します。

接種は強制ではありません。厚生労働省の見解は、市ホームページからもご覧いただけます。詳細を確認のうえ、接種をご検討ください。

※本件は、三鷹市議会に提案予定です。

**対象者** 三鷹市に住民登録がある5～11歳の方

**予約開始日** 個別接種=3月2日(水)  
集団接種=3月8日(火)午前9時

**接種開始日** 個別接種=3月7日(月)  
集団接種=3月20日(日)

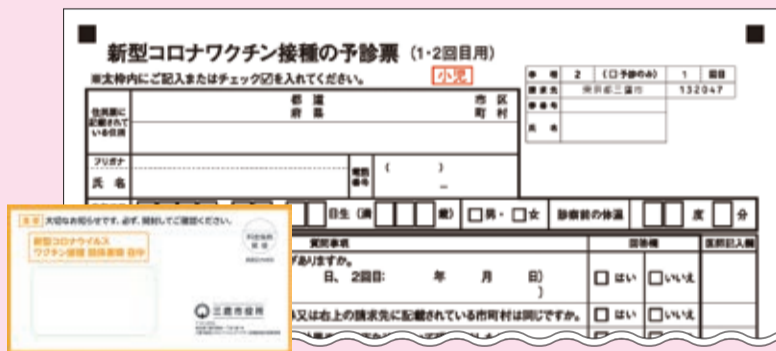
**ワクチンの種類** ファイザー社ワクチン(5～11歳用)

**接種間隔・回数** 1回目の接種から3週間後に2回目を接種

※2回目の予約は、1回目の接種を受けた会場または医療機関で受け付けます(原則、同じ会場の3週間後の日程)。

### 小児用ワクチンの供給量について

小児用ワクチンは、3月中の供給量が三鷹市全体で約4,500回分と少なく、予約枠も限られています。今後の予約枠については、ワクチンの供給量に応じて随時設定し、主に市ホームページでお知らせします。



|      |   |  |
|------|---|--|
| 個別接種 | <p>◆対象 5～11歳 ※必ず保護者同伴でお越しください。</p> <p>◆予約方法 市内16カ所の医療機関へ直接予約<br/>※詳しくは2面の医療機関一覧または市ホームページをご確認ください。</p>  |  |
| 集団接種 | <p>◆対象 9～11歳 ※必ず保護者同伴でお越しください。</p> <p>◆接種会場 元気創造プラザ(地下2階サブアリーナ)</p> <p>◆日程 3月20日(日)午前9時～午後5時(2回目の接種日は4月10日(日))<br/>※以降の日程は、国からのワクチン供給量が決まり次第、市ホームページまたは『広報みたか』でお知らせします。</p> <p>◆持ち物 母子健康手帳、接種券一体型予診票(必要事項を事前に記入)</p> <p>◆予約方法</p> <p><b>インターネット予約</b> 三鷹市ワクチン接種web予約サイト</p> <p><b>電話予約</b> 三鷹市新型コロナワクチン接種コールセンター<br/>☎0570-026-567(平日午前9時～午後5時)</p> |  |

※電話予約は大変混み合います。  
※フリーダイヤルではありません。  
音声案内後は通話料がかかります。

## 18歳以上の方への3回目接種については、2面をご覧ください

YouTubeで  
市長メッセージを  
配信中



ぜひ楽しみにしていただきたいと思います。

貴重なこの書齋を、ご遺族のご理解とご協力もあり、このたび三鷹市では、井の頭公園駅のそばに移設・再現し、展示機能を付加して同氏を顕彰する文化施設として整備することとしました。設計業務の実施にあたり、委託事業者をプロポーザル方式で選定し、現在、設計を進めているところです。令和5年度中のオープンに向けて、クラウドファンディング(寄付)も継続的に行っていく予定です。

お庭に「離れ」として建てられた書齋には、天井までそり立つ作り付けの書棚、そこに収められた執筆に必要な資料、万年筆や特製の原稿用紙、それに辞書などが取りそろえてありました。大きな地図や歴史書などを広げることができています。相当お気に入りの場所だったようです。私も若い頃、中に入れてもらったことがあります。和室(茶室)やちよつとした台所まで整っていても本当に素敵なところでした。数え上げれば切りがないほどの作品がここから生まれていきます。そうした数々の「吉村文学」が創造された原点、それがこの書齋です。



三鷹市長  
河村 孝

作家・吉村昭さんの書齋